

設計会社

(株)土屋ホームトピア

施工会社

(株)土屋ホームトピア

タイプ

持家一戸建

構造

在来木造

講評

居間は暗く、冬は風と雪が吹き込み、屋根の落雪が動線を塞ぐ状態の解決のため、冬用と夏用の玄関を別個に設け、室内にインナーテラスの空間を設置した。除雪労力削減と、安全通路確保を実現し、リフォームは課題解決産業なのだ改めて感じさせてくれた好例。

リフォーム前後の写真



改修後。除雪で積み上げられる雪は3割程度にまで減少。



除雪範囲が5分の1で済むため、雪の壁も解消。除雪機の出動回数も激減し、中型スコップだけでも十分です。

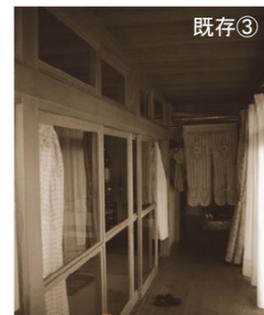


・改修前は1回で1時間半程度→合計27時間/年
 ・改修後は1回で20分程度→合計6時間/年
 【21時間/年、有効な時間が生まれる計算です】

福島県の降雪日数は平均72日/年程度。会津はそのうちの4回に1回は除雪作業が必要。



風雪の巻き込み、西陽遮断、木部の劣化防止、和風デザインなどの配慮から、木製ルーバーの外側にポリカ板を張った。



改修後③



冬玄関。壁厚利用のコート掛けは冬場、濡れた衣類を掛けるのに便利。洋風は奥様の要望。



もともとお客様をお迎えするに相応しい玄関だったため可能な限り手を加えず改修し、亡くなったお父様の思い出を残した。



物干し場としても、孫たちとの日向ぼっこ場としても使えます。

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想・満足度/住宅の価値を向上させた内容など

【リフォームの動機】 ■居間が縁側や、玄関下屋の影になり非常に暗い。最も日当たりがよい南東に持って来て欲しい。 ■冬季は北西からの風と雪が吹き込む。また屋根からの落雪も重なって積雪が凄い。道路に最も近い南西に玄関を持ってきて、かつ無駄となる空間は極力作らないで欲しい。 ■奥様「和風は嫌」。ご主人「亡くなった父がこだわって建てた家。外観や面影はどこかに残したい」 【設計の工夫点】 ●日照の要望を解決するためリビングを南東に配置したが、冬季玄関までの動線も

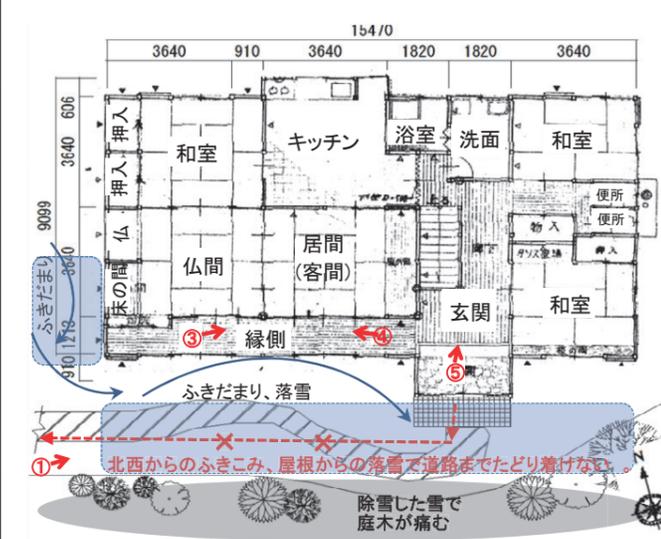
長くなり、無駄な空間が多くなりがち。古い日本家屋の縁側は近年、無駄なスペースとして扱われ、耐震的にもネックになり、採光の障害とも捉えられてしまう。これを断熱、耐震補強を施しながら室内にインナーテラスの役割を持たせ、かつ冬季の通路動線として転用。空間ごとに目的を与え、お客様の除雪の労力軽減と安全通路確保を行った。 ●積雪地域の悩みの種でもある除雪した雪のやり場も、除雪した雪が発生しないので済む。内部改修にも関わらずこの問題も一挙に解決できた。

性能向上の特性
断熱性能、耐震性能 (0.23 → 現行基準法クリア)

特に配慮した事項
動線工夫による除雪労力を5分の1まで低減させた。内部改修をするだけで外部環境も大きく変化をもたらせた。(除雪した庭木への積雪荷重も7割軽減)

所在地	福島県大沼郡会津美里町	築後年数	35年	施工期間	75日間
該当工事床面積	25.00㎡ / 総工事床面積 146.00㎡	該当部分工事費	450万円 / 総工事費 1700万円		
居住者構成	65歳以上: 0人、15~64歳: 3人、15歳未満: 0人、ペット:				

リフォーム前の平面図



リフォーム部位: □居室/ □台所/ □浴室/ □便所/ □洗面所/ ■廊下/ □階段/ ■玄関/ □クローゼット/ □マツヨリ共用部分

リフォーム後の平面図

